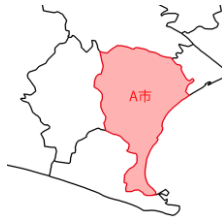
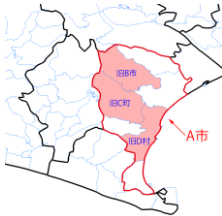




災害事例ID		1989-04-08_x_RLxxxx_JP14205-014416-13				範囲精度 *2	
現在の自治体名*1		神奈川県 藤沢市 (地方公共団体コード: JP14205) 代表点座標: 35.33894, 139.491116				A	
災害の種類		風水害(洪水, 大雨), 斜面災害(表層崩壊)					
自然現象		風水害	期間降水量: 162.5 mm, 地点: 北消防署 (平成1年4月8日 4:00 ~ 平成1年4月9日 3:00)				
発生時期	発生日	1989年4月8日 (平成1年4月8日)					
	災害の継続期間	1989年4月8日 (平成1) ~ 1989年4月9日 (平成1) (発生期間)					
被害詳細	建物被害	浸水被害	床上浸水	49 棟	床下浸水	76 棟	
	インフラ		道路	6 箇所			
出典資料		藤沢市消防本部 (2009) : 消防年報 2009年(平成21年)版, p115.					

\*1 : 2013 (平成25) 年1月1日時点

災害事例ID		1989-04-08_x_RLxxxx_JP14205-014416-13	
風水害	期間降水量		162.5 mm, 地点: 北消防署 (平成1年4月8日 4:00 ~ 平成1年4月9日 3:00)
斜面災害	発生箇所数	表層崩壊	1箇所

\*2：範囲精度の解説

範囲精度	事例の地理的な範囲の用例	事例範囲のイメージ
A	事例レコードの地理的範囲と災害統計値の集計エリアとが同一。	
B	事例レコードの地理的範囲(現在のA市)は、災害発生当時の旧市町村エリアよりも大きいため、実際には災害が発生していない地域も含む。	
C	出典資料に事例レコードの地理的範囲に関する記述が無く、正確な範囲が不明。(例:非常に古い災害、河川の流域)	
D	事例レコードおよびその周辺地域(隣接自治体までの範囲)を含む範囲で、かつ、事例レコードの範囲に関する情報を抽出できない。この場合、事例レコード内での被害状況は事実よりも過剰な記述となる。	
E	事例レコードを含む広域(郡、県、山麓レベル)の範囲で、かつ、事例レコードの範囲に関する情報を抽出できない。	<p style="text-align: center;">県・地方単位</p>